

福井県賃金実態調査

県内企業に従事する労働者の、実在勤労者賃金や年間賃金、賃金制度などを調査し、今後の賃金資料や労働条件検討の際の参考とするために、県下7商工会議所が合同で調査を行った。

○調査時期／

平成26年8月1日(金)～8月29日(金)

○調査方法／調査票の郵送による照会

○調査対象／福井県下3,000社

○回答数／737社(回収率:24.5%)

○業種内訳／製造業89社、卸小売業164社、建設業182社、サービス業117社、その他85社

(従業員規模:50名以下:579社、100名以下:67社、101名以上:91社)

実在勤労者賃金(月額賃金)

賃金カーブは55歳頃をピークに、以降は横ばい、または若干の減少傾向

実在勤労者賃金調査は、平成26年4月～6月の3カ月間、継続して同一企業に勤務している常用労働者に対して支給された月額賃金を調査

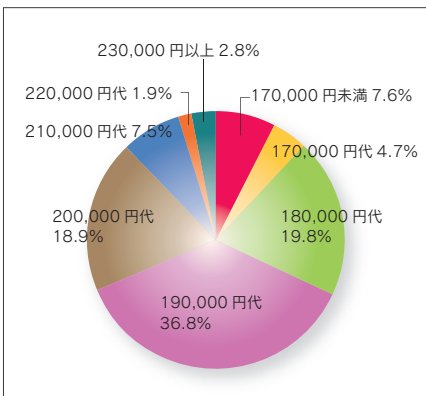
者に対して支給された平成25年の年間賃金は表2の通りである。全体で見した場合全ての年齢において、「大学・大学院卒」が最も高い賃金となった。なお、学歴が高いほど年齢間格差が大きくなる(年間賃金の上昇率が高い)傾向も鮮明になった。

初任給の支給状況

大学／大学院卒の初任給(全業種:総合職)の支給額は、190,000円代の初任給が36.8%と最も多い結果となった。また、初任給が200,000円を超える割合は全体の約30%に上り、学歴間比較の中で最も賃金が高い数値となっている。

短大／専門学校卒の初任給(全業種:総合職)の支給額は、190,000円以上の初任給は全体の12.0%

[グラフ2] 大学/大学院卒初任給(全業種:総合職)



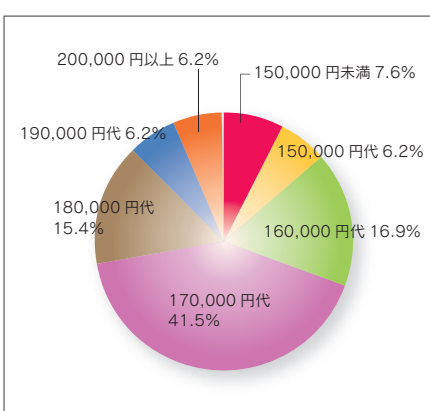
したものである。本調査の賃金とは、所定労働時間内給与(通常正規に予定された労働時間に就労したことに対して支払われる賃金で、通勤手当や超過勤務などを除いた月例支給総額)の金額を指し、調査結果は表1の通りとなった。

[表1] 福井県実在勤労者賃金(月額賃金)(全産業) (円/月)

年齢	大学・大学院卒			短大・専門学校卒			高校卒				
	全体	総合職	一般職	全体	総合職	一般職	全体	事務	販売	生産・技術	その他
24歳以下	197,994	202,238	187,597	180,841	192,066	171,306	172,420	160,513	171,862	173,168	180,979
25歳～30歳	219,967	232,450	204,939	199,931	221,367	188,144	204,253	179,639	207,158	207,118	205,227
31歳～35歳	263,829	290,987	245,799	226,268	265,220	216,175	231,041	194,032	248,528	236,037	227,217
36歳～40歳	300,014	322,906	265,350	251,913	297,575	223,219	253,515	208,587	279,175	259,031	248,812
41歳～45歳	330,665	359,358	269,231	272,366	355,869	239,164	266,348	228,899	292,531	275,914	254,240
46歳～50歳	365,353	394,276	321,533	290,500	377,932	238,913	282,995	234,692	319,478	294,274	277,598
51歳～55歳	393,537	416,298	338,360	295,808	361,418	270,979	284,628	240,089	330,760	292,667	264,613
56歳～60歳	397,969	416,384	334,211	306,693	417,893	272,711	282,614	270,080	305,708	281,103	265,819

4%と1割程度に留まり、170,000円未満の初任給が全体の約3割占める結果となった。

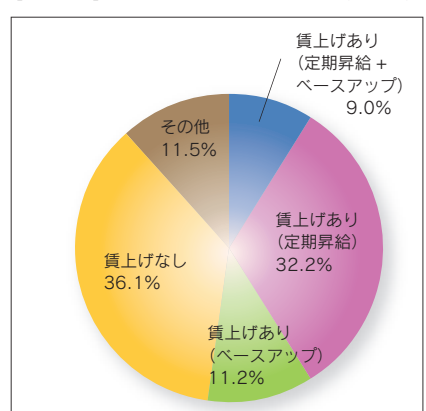
[グラフ3] 短大/専門学校卒初任給(全業種:総合職)



今後の賃上げ予定

「賃上げあり」と回答した事業所は52.4%に上るものの、ベースアップありと回答した事業所は全体の20.2%に留まった。また「賃

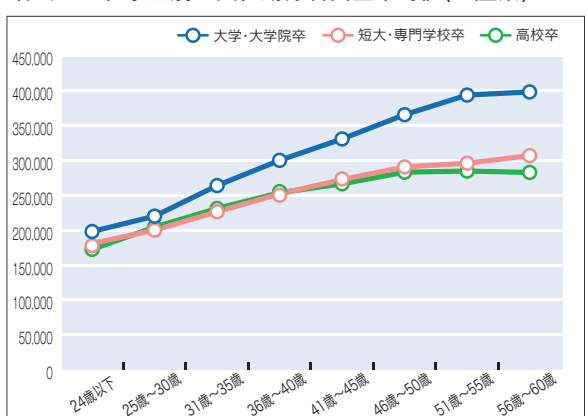
[グラフ4] 今後の賃上げの予定について(全業種)



経営状態を考慮しつつ、今後「賃上げあり」の回答が5割を超える結果に

大学・大学院卒、短大・専門学校卒、高校卒それぞれの学歴ごとの全体平均値(全体値)の趨勢をグラフにしたものがグラフ1である。賃金カーブに関しては、55歳頃をピークにその後以降は横ばい、または若干の減少傾向となった。いずれの年齢においても、「大学・大学院卒」が最も賃金が高い。また、「短大・専門学校卒」と「高校卒」の全体値を比較すると、25歳～40歳までは、「高校卒」の方が賃金が高い。一方で41歳以降

(グラフ1) 学歴別の実在勤労者賃金平均値(全産業)(円/月)

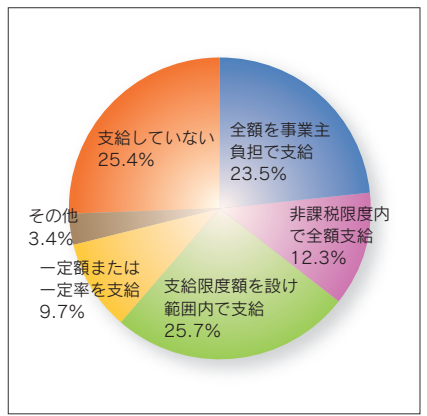


上げなし」は全体の約3割を越す結果となり、賃上げに際して経営判断が大きく二分されていることが伺える。なお、賃上げに際し重視する要素は「経営状態」が59.2%と最も多く、次いで「世間相場」が20.8%となった。

通勤手当の支給状況

公共交通機関を利用した場合の通勤手当については、支給している事業所の割合が7割を超える結果となった。なお、非課税限度枠の引上げが昨年10月に行なわれたことに伴い、今後、支給金額に変化が起きることが予想される。

[グラフ5] 通勤手当の支給状況(全業種:公共交通機関の場合)



扶養家族手当の支給状況

配偶者への扶養手当額に関しては、

になると、「短大・専門学校卒」が賃金を上回る結果となった。

実在勤労者賃金(年間賃金)

学歴が高いほど年間賃金の上昇率が高い傾向に

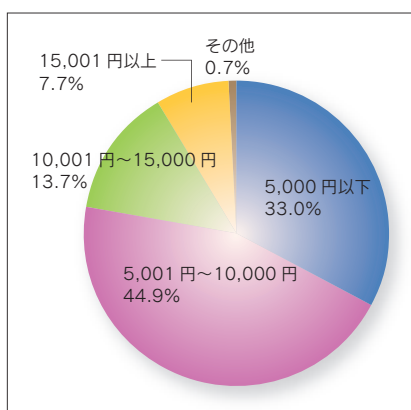
県内企業に勤務している常用労働

[表2] 福井県実在勤労者賃金(年間賃金)(全産業) (円/年)

年齢	大学・大学院卒			短大・専門学校卒			高校卒				
	全体	総合職	一般職	全体	総合職	一般職	全体	事務	販売	生産・技術	その他
25歳～30歳	3,247,309	3,584,070	2,897,802	2,873,464	3,618,371	2,537,041	2,916,322	2,545,228	2,762,742	3,056,434	2,763,831
31歳～35歳	4,118,071	4,627,448	3,656,995	3,374,580	4,089,670	3,121,149	3,404,051	2,774,027	3,592,136	3,471,151	3,467,553
36歳～40歳	4,578,032	4,891,974	3,970,200	3,773,889	4,473,036	3,269,354	3,741,370	2,949,237	4,087,863	3,919,632	3,560,668
41歳～45歳	5,117,120	5,636,472	3,942,397	4,061,137	5,228,600	3,433,227	3,992,698	3,247,652	4,355,950	4,187,291	3,826,809
46歳～50歳	5,584,036	6,051,187	4,781,169	4,402,251	5,894,703	3,514,358	4,220,684	3,414,961	4,728,491	4,411,675	4,200,198
51歳～55歳	5,937,316	6,459,271	5,094,542	4,502,412	5,351,309	4,140,967	4,299,793	3,431,655	4,976,496	4,418,918	4,089,065
56歳～60歳	5,982,789	6,340,978	4,815,254	4,603,433	6,303,988	4,335,651	4,310,749	4,268,870	4,568,211	4,271,966	4,018,734

支給額10,000円以下が全体の7割を超える結果となった。なお、子への支給額では5,000円以下が8割を超え、調査を行った第1子から第4子のいずれにおいても、同様の結果となった。

[グラフ6] 扶養家族手当の支給状況(全業種:配偶者)



調査結果の詳細に関しては、福井県商工会議所連合会HP上に掲載しておりますが、結果閲覧にはパスワードが必要になります。

閲覧をご希望の方は、同日P上から「パスワード取得申請の手続き」をお願いいたします。

「本件に関するお問い合わせ先」
福井商工会議所 経営支援・人材育成課
TEL 0776(33)8283